



# 新入生教務ガイダンス

## 国際文化学部 国際文化学科 1年次

大学入学後は、分からないことが多いが、『何が分からないのかを知ること』そして、分からないことは必ず聞くこと。

# 配布物の確認

1. 配付書類及び解説
2. 新入生オリエンテーション等日程表
3. 学生便覧
4. 履修ガイド(各学部別)
5. 履修ガイド(K'sLife利用ガイド)
6. 授業時間割表
7. 教職課程について
8. 創立60周年記念オリジナルEdyカード及びチラシ
9. 教科書購入一覧表
10. 教科書購入申込書(OCR)
11. 外国語学習の手引き2020
12. Campus
13. 学友会ハンドブック
14. 若いときから知っておくべきお酒のこと
15. 基礎から学べる金融ガイド
16. 薬物乱用防止リーフレット
17. ごみルールブック
18. 大切なあなたを守るために・・・福岡県警察
19. 定期健康診断日程表
20. 学生教育研究災害傷害保険のしおり
21. お金の心配なく学びつづけたい学生のみなさんへ
22. 国際交流センター報(JUNCTION)
23. キャンパスハラスメント冊子
24. 九州産業大学美術館展覧会スケジュール2020-2021
25. 九州産業大学美術館展覧会「家具をつくる一暮らしを語るデザイン」チラシ
26. 九州産業大学資格取得講座等総合案内
27. 大楠アリーナ2020パンフレット
28. 入学直後アンケート

封筒の中に、  
**「配付書類及び解説」(A4縦1枚)**  
に記載されているものが、すべて  
入っているか確認してください。

# まず初めに

## 高校と大学の違い

大学生は、自己責任！！

項目	高校	大学
クラス制及びクラス担任	あり(1クラス10人~20人程度)	あり(クラス担任は、1年次のゼミナールの担当教員)
HR/朝礼	あり	なし(大学からの連絡や情報は、K'sLife、教務部HP、掲示板に掲載します。)
学期制	基本的に3学期制	2学期制(前学期・後学期)
休み期間	8月、12月下旬~1月上旬、3月末	8月上旬~9月上旬、12月下旬~1月上旬、2月~3月
授業時間	50分	100分
1科目の授業回数	週数回	基本的に週1回
授業形態	「クラス」単位で着席位置を決められていることが多い。クラスごとの時間割に合わせ、各教科の先生が授業を行う。	基本的に着席は自由です。(中には着席位置が決められている授業もあります。) ①講義:先生が学生の前で授業する。 ②実習・実験:先生からの課題などについて実習・実験する。 ③ゼミナール:少人数制で、課題から自分で発表するテーマを決め、各自で調査し、みんなの前でプレゼンテーション(発表)などを行う学生中心の授業。

# まず初めに

## 高校と大学の違い

大学生は、自己責任！！

項目	高校	大学
履修(時間割)	決まっている (クラスで共通)	決まっていない(自分で登録する) 自分の興味や、取得したい資格及び将来設計に合わせ、時間割を作成する卒業要件を確認した後、年次別授業科目配当表及び授業時間割表の中から、自分の学修したい科目を選択する。
教室	クラスで決まっている	授業科目毎に決まっている。 選択した授業の教室に自分が行きます。科目によって、教室の規模が異なります。(30名～多い教室では500名超座席があります)
出欠	取る	取る場合がほとんどだが、取らない場合がある
欠席の連絡	必要	不要(1ヶ月以上の場合は必要)
卒業要件	基本的に学年制	単位制(124単位以上)(卒業要件を確認すること) 基本的には1年間の成績で「留年」と判断されることはありません。大学では、学修の量を「単位」として計算し、授業科目を履修して、試験に合格すると、定められた単位数を修得することができます。単位数は授業の種類によって定められているので、自分が在籍する学部の卒業に必要な単位数をしっかりと確認しながら、授業を履修することが必要です。
アルバイト	原則禁止	自由

# 用語説明

## 履修登録とは？

→自分で時間割を作成し、Web登録すること。

## K's Life（ケース ライフ）とは？

→学生教育支援・事務情報システム

個人の履修登録、成績、連絡通知を閲覧できるWebサイトのこと。

（本学のホームページより閲覧）

## シラバスとは？

→授業科目の講義内容や学修計画のこと

K's Life（ケースライフ）で閲覧可能。

## ※学生証

\*本人確認できる身分証明書。常に携帯すること

\*内蔵のICチップを破損しないよう大切に扱うこと

# コロナウイルス感染症拡大に伴う 学年暦の変更について

コロナウイルス感染症拡大に伴い、本学での安全・安心な授業体制を整えるため、授業開始を**延期**します。

配布している学生便覧・履修ガイド(K'sLife利用ガイド)等に記載の学年暦(1年間のスケジュール)は**変更前**のものです。

今から説明するスライド内容については、**変更後**の学年暦をお伝えするため、本日の内容を必ず参考にしてください。

# 学生便覧とは

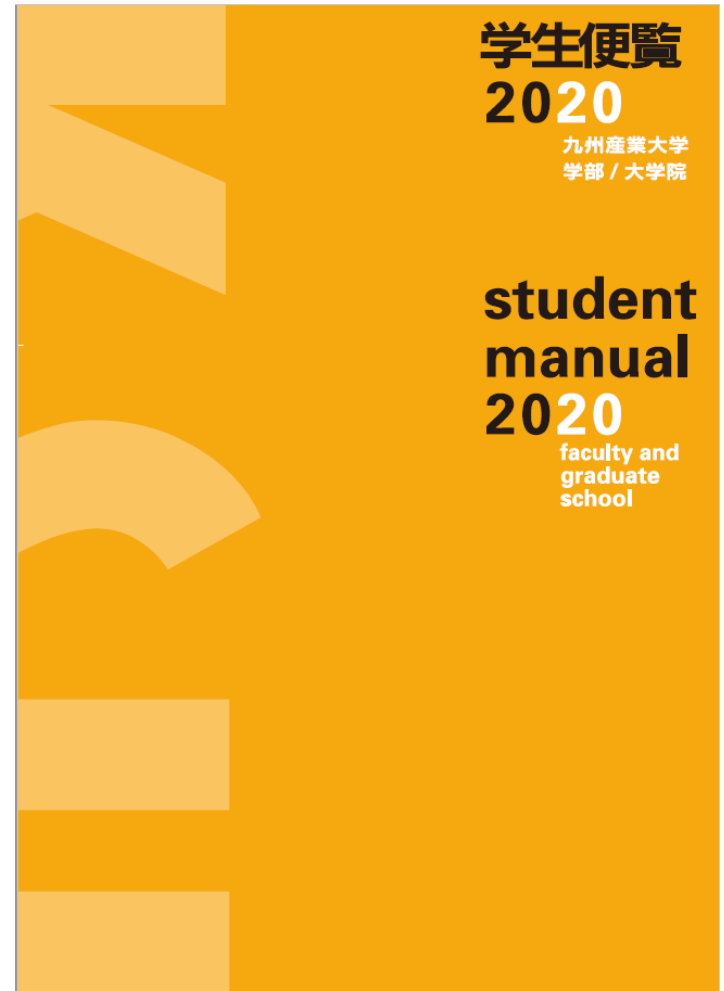
在学中、すべてのルールはこの学生便覧に基づいている。紛失しないこと。

## ★学年暦 (P. 1～2)

1年間のスケジュール  
補講日や祝日授業日等  
行事日程を掲載

## ★担当部所

授業・試験・履修登録  
に関する事＝教務課



# 学年暦

授業は、**前学期13回**、**後学期14回**

4月 9月 3月

前学期

夏季休業

後学期

冬季休業

- ・前学期授業開始 **4/22(水) 全13回**
- ・祝日授業実施日 **4/29(水)**等
- ・**7/4(土)→火曜授業**
- ・補講日(土曜日)  
4/25、5/16、5/30、6/13、  
6/27、7/11、**7/24**
- ・前学期定期試験 7/25(土)～7/31(金)

- ・後学期授業開始 9/14(月) 全14回
- ・祝日授業実施日 9/21(月)等
- ・**12/23(水)→月曜授業**
- ・補講日(土曜日)  
9/26、10/10、10/24、11/7、11/21、  
12/5、12/19、1/7
- ・後学期定期試験 1/8(金)～1/18(月)

・夏季休業 8/4(火)～

・冬季休業  
12/24(木)～

**前学期の成績公開日は、8月31日(月)**  
**後学期の成績公開日は、3月10日(水)**



# 卒業要件と単位認定方法

## 「学則」 大学全体に関するルール

- ・ 第15条：卒業要件（P. 8）

別表第10は、P. 64に記載。

**卒業までに124単位以上必要！**

- ・ 第18条：単位の認定（P. 8）

授業科目修了の認定は、筆記又は口頭による試験や  
その他適当な方法によって行われます。

**成績表示は**

**秀（S）・優（A）・良（B）・可（C）・不可（D/E）**

単位修得

# 受験心得・学生証・教員組織

- **受験心得 (P. 415)**

定期試験の受験心得。一度は読んでおくこと。

- **学生証の取扱**

本人確認できる大切なもの。常に携帯すること!!

内蔵のICチップを破損しないよう大切に扱うこと。

- **教員組織 (P. 422)**

国際文化学部国際文化学科の専任教員は

2号館5階～7階に研究室がある。

非常勤講師控室は1号館2階。

# 履修ガイドについて

## 履修とは



**履修とは:**卒業要件を確認した上で、当該学部・学科の授業科目を学修し、単位修得するために授業の受講登録をすること。

**履修ガイド:**本年度の履修に関する手引書講義を受ける上での注意事項が記載している。  
必ず一読し、履修登録すること。

**履修登録:**自分の時間割を作成した上で、WEBで授業科目の履修を登録することです。学生便覧の授業科目履修規程、年次別授業科目配当表及び授業時間割表を確認すること。

# 履修ガイドについて

## シラバス

授業科目名、授業担当教員、授業概要、授業計画、成績評価基準などを記載している。必ず、シラバスを確認した上で、履修登録すること。

K's LifeによるWeb履修登録の際にも、シラバスを確認することができます。

科目コード	DYG2001																																
科目名	地域共創学概論																																
担当教員	真木 圭亮 塩道 裕俊 佐藤 忠文 緒方 真木村 俊夫 吉野 宗俊 徳末 剛山下 永子 横井 克典 行平 真也 柳原山 広大 栗山 和幸																																
対象学年	1年																																
クラス	[001]																																
講義室	N303教室																																
開講学期	前期																																
曜日・時限	火4																																
単位区分																																	
授業形態																																	
単位数																																	
評価事項																																	
備考																																	
履修教員	○																																
A講義概要/Class Outline	<p>&lt;DPおよびGPとの関連性&gt; 本講義は、地域づくり学科のDP1およびDP11に基づいて、様々な角度からの地域共創学がことを目的として設置している。</p> <p>&lt;カリキュラム上の位置付けや水準&gt; 本講義は、地域づくり学科における最も基礎的な科目として、1年次に配当されている。</p> <p>&lt;内容&gt; 「地域づくり方」が大きく変化しつつある。かつて地域づくりは自治体为主体となり行うものであった。しかし、近年では自治体だけでなく、企業やNPO法人、さらにはその地域に暮らしを共にする住民が共に手を取り合って地域づくりを行うようになってきている。すなわち、地域が「共創」されるようになってきている。本講義では、地域の共創の近年の動向やその特色、そして将来的な展望について、専門領域の異なる教員が自身の専門領域の視点から解説していく。本講義を通じて、現状のまちづくりの現状、そして共創の重要性と観念について学んでいく。</p> <p>基本的には以下のスケジュールで進行していくが、状況に応じて多少の変更が生じる場合がある。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>「地域を共創する」という考え方について学ぶ</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>世界のクリエイティブシティから、地域共創とクリエイティブシティを学ぶ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>地域の歴史、民俗、産業、自然科学、芸術などに関する資料が集まる、知の宝庫としての博物館を活用した地域づくりを考える</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>北九州市における環境政策の歴史的展開(公害対策からSDGsまで)を題材に、地域共創の実践例を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>「地域共創」を憲法と地方自治法の観点から住民自治と住民参加の角度で考える</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>産業の6次産業化を例に、産業と地域との共創について学ぶ</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>不連続とビジネスを連続・発展させている小規模な企業たちが、なぜ存続成長できているのか、その要因を考える</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>公共コミュニケーションの視点から地域の共創を考える</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>芸術文化の力を活用した地域づくりの手法やその狙い手について学ぶ</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>地域祭礼の文化財指定に向けた調査事例を紹介し、地域文化のこれからの考える</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>海を活かしたまちづくりを例に、海と地域の共創について考える</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>課題解決の解決に向けた取組み事例を通じて、地域共創のあり方を探る</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>災害と繋がる自治体の実態を考える</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>これからの地域の共創のあり方について考える</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	「地域を共創する」という考え方について学ぶ	2	世界のクリエイティブシティから、地域共創とクリエイティブシティを学ぶ	3	地域の歴史、民俗、産業、自然科学、芸術などに関する資料が集まる、知の宝庫としての博物館を活用した地域づくりを考える	4	北九州市における環境政策の歴史的展開(公害対策からSDGsまで)を題材に、地域共創の実践例を学ぶ	5	「地域共創」を憲法と地方自治法の観点から住民自治と住民参加の角度で考える	6	産業の6次産業化を例に、産業と地域との共創について学ぶ	7	不連続とビジネスを連続・発展させている小規模な企業たちが、なぜ存続成長できているのか、その要因を考える	8	公共コミュニケーションの視点から地域の共創を考える	9	芸術文化の力を活用した地域づくりの手法やその狙い手について学ぶ	10	地域祭礼の文化財指定に向けた調査事例を紹介し、地域文化のこれからの考える	11	海を活かしたまちづくりを例に、海と地域の共創について考える	12	課題解決の解決に向けた取組み事例を通じて、地域共創のあり方を探る	13	災害と繋がる自治体の実態を考える	14	これからの地域の共創のあり方について考える	15	
回	内容																																
1	「地域を共創する」という考え方について学ぶ																																
2	世界のクリエイティブシティから、地域共創とクリエイティブシティを学ぶ																																
3	地域の歴史、民俗、産業、自然科学、芸術などに関する資料が集まる、知の宝庫としての博物館を活用した地域づくりを考える																																
4	北九州市における環境政策の歴史的展開(公害対策からSDGsまで)を題材に、地域共創の実践例を学ぶ																																
5	「地域共創」を憲法と地方自治法の観点から住民自治と住民参加の角度で考える																																
6	産業の6次産業化を例に、産業と地域との共創について学ぶ																																
7	不連続とビジネスを連続・発展させている小規模な企業たちが、なぜ存続成長できているのか、その要因を考える																																
8	公共コミュニケーションの視点から地域の共創を考える																																
9	芸術文化の力を活用した地域づくりの手法やその狙い手について学ぶ																																
10	地域祭礼の文化財指定に向けた調査事例を紹介し、地域文化のこれからの考える																																
11	海を活かしたまちづくりを例に、海と地域の共創について考える																																
12	課題解決の解決に向けた取組み事例を通じて、地域共創のあり方を探る																																
13	災害と繋がる自治体の実態を考える																																
14	これからの地域の共創のあり方について考える																																
15																																	
B評価項目(テーマ及び学習内容)																																	
C到達目標/Class Goal	<p>・地域づくりへの多様なアプローチについて理解できる ・「地域共創」という考え方を理解できる</p> <p>&lt;事前・事後学習について&gt; 本学設置基準(授業科目)に1単位の授業科目を45分間の学習を必要とする内容をもって構成することを標準とし、記載されている。本科目は2単位であるため、受講生には90分間の学習が求められる。授業時間は100分×14回=20.5時間であるため、80時間から20.5時間を引いた69.5時間が、事前・事後の総学習時間となる。授業1回あたりでは、66.5時間+14回=80.5時間の学習が受講生には求められる。</p> <p>&lt;事前・事後学習の内容&gt; 事前学習: 地域共創の事例について、自分なりに調べ整理しておく(2.25時間) 事後学習: 講義内容の復習(2.5時間)</p>																																
D評価基準/Grading Criteria	地域共創学初級科目履修規定43条(成績評価基準)に基づき評価する。																																
E評価方法/Grading Method	毎回の講義でのミニレポート(100%)																																
F受講上の注意/Class Rules	・出席については受講生自身が責任を持って管理すること ・講義中は質問や意見を求めることがあるため、その機会を逃さないように集中して講義に臨むことが特に駁けない。																																
H受講制限/Prerequisite																																	
I関連する科目/Related Class	地域共創学部のすべての科目の基礎となる重要な科目の1つであることを強く意識して講義に臨むことが望ましい。																																
J教科書/Text	必要に応じて適宜指示をする。																																
K指定図書/Assigned Books	必要に応じて適宜指示をする。																																
L参考文献/Bibliography	必要に応じて適宜指示をする。																																

# 大学の学修（学修と学習のちがい）

①自分で学修計画（時間割）を作成する。

②自分で履修登録を行う。

③授業を受ける。

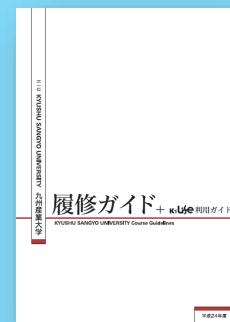
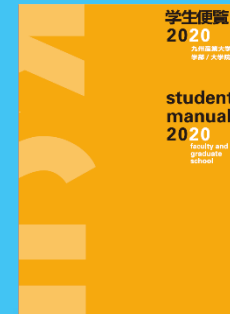
レポート  
提出

定期  
試験

④単位を修得する。

⑤卒業に必要な単位を修得する。

⑥卒業



学生便覧・履修ガイド・  
授業時間割表を参照  
すること。

# 科目について

## 九州産業大学の教育課程

### 基礎教育科目

- 広く様々な学問を学び人間力を養う

### 外国語科目

- 英語・英語会話及びその他の外国語科目を学ぶ

### 専門科目

- 特定の分野について専門的に学ぶ（学部によって異なる）

卒業（124単位以上）

# 学則

## 卒業要件

卒業するまでに必要な単位は、**124単位！！**  
 但し、卒業要件を満たしていないといけません。

授業科目区分	授業科目及び単位数		
	国際文化学科		
専 門 科 目	学部 共通科目	必修科目	8 単位
		選択科目	6 単位以上
	学科 共通科目	必修科目	22単位
		選択必修科目	6 単位以上
		選択科目	6 単位以上
	学科展開科目	英語エキスパート科目	20単位以上
		国際教養科目	10単位以上
基礎教育科目	導 入 科 目	4 単位以上	22単位以上
	実 践 科 目	4 単位以上	
	教 養 科 目	12単位以上	
	心と身体 of 健康科目		
外国語科目	2 外国語16単位以上（英語12単位以上）		
合 計	124単位以上		

さらに専門科目及び外国語科目  
 から8単位以上  
 （基礎教育科目は含まない）

# 単位について

国際文化学部 国際文化学科 ※印は必修科目、△印は選択必修科目、○印の授業科目のうち、最低1科目以上を必ず履修しなければならない。

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業要件
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学部共通科目	必修科目	2							8 単位
	※ 九州学	2							
	※ 日本文化入門	2							
	※ アジア文化入門	2							
	※ 欧米文化入門	2							
	選択科目	2	日本語教育入門	2	日本語教授法	2	日本語教育実習 (2)		6 単位以上
		2	日本語教育文法論	2	日本語教育授業研究	2			
		2	言語学	2	人文社会概論	2	現代思想 (2)		
		2	古典に学ぶ	2	国際協力論 (2)				
		2	中国古典文学	2	International Communication	(2)			
	2	国際関係論	2						
専攻科目	必修科目	2	ゼミナールI	4	ゼミナールII	4	※ 卒業論文・卒業研究	8	22 単位
	※ コミュニティ英語入門I	2	※ TOEIC講座A	1	※ TOEIC講座B	1			
	※ コミュニティ英語入門II	1							
	選択必修科目	2	△ 欧米思想史	2	△ 現代アジア事情 (2)				6 単位以上
		2	△ 文化交流史	2	△ 現代欧米事情 (2)				
		2	△ 文化伝説	2	△ 比較文化論 (2)				
	選択科目	2	○ 海外フィールドスタディA	2	○ プロジェクト実習 (2)				6 単位以上
		2	○ 海外フィールドスタディB	2	○ 英語海外留学 (8)				
		4	○ 留学対策英語講座	4					
		1	○ 語学検定講座 A	1					
	1	○ 語学検定講座 B	1						
	1	○ 語学検定講座 C	1						
科目	英語教育学入門	2	英語学	2	英語学II (2)	Instructional Design for (2)			
	英語学入門	2	Communicative Writing A	2	Media Communication (2)	Teaching English (2)			
	ベーシック英語表現	2	Communicative Writing B	2	Communication (2)	Communication Theory (2)			
	ビジネス英語キャブ	2	コミュニケーション英A	2	英語文献講読A (2)	児童英語教育 (2)			
		2	コミュニケーション英B	2	教科指導法A(英語)	教科指導法B(英語)	(2)		
		2	English Phonetics A	2	英語サポーターA (2)	英語サポーターB (2)			20 単位以上
		2	English Phonetics B	2	Communicative Language Learning II				
		2	ホップカルチャー英語	2					
		2	Communicative Language Learning	2					
		2	英語科教育法A	2					
国際教育科目	グローバルイシュー入門	2	英語文学概論	2	英語文学特講 (2)				
	国際教養学入門	2	英語圏文化論	2	英語圏文化特講 (2)				
		2	欧米文化論	2	欧米文化特講 (2)				
		2	イスラム文化論	2	環境問題論				
		2	アジア文化論	2	アジア文化特講 (2)				
		2	アジア史概説	2	PO-NGO論 (2)				
		2	アムカ史概説	2					
		2	ヨーロッパ史概説	2					
		2		2					
		2		2					

86 単位 (さらに専門科目及び外国語科目から 8 単位以上を履修しなければならない)

2	4	2	2	2	1
2	2	2	2	2	1
2	2	2	2	2	1

★KSU国際教育プログラム

区分	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
	授業科目 (単位)		授業科目 (単位)		授業科目 (単位)		授業科目 (単位)	
基礎科目	基礎ゼミナール	(2)						
	基礎ゼミナール (アフォーメーター)	(2)						
	導入ゼミナール I	(1)						
	導入ゼミナール II	(1)						
	情報処理実習 A	(2)						
	情報処理実習 B	(2)						
	キャリア教育実習	(2)						
	キャリア教育実習	(2)						
	キャリア教育実習	(2)						
	キャリア教育実習	(2)						
実践科目	実践科目 I (文章力)	(2)	★実践科目 II (記述力)	(2)	★実践科目 III (表現力)	(2)	★実践科目 IV (プレゼン力)	(2)
	実践科目 II (読解力)	(2)	★実践科目 V (聴解力)	(2)	★実践科目 VI (発音)	(2)	★実践科目 VII (面接)	(2)
	実践科目 III (聴解)	(2)	★実践科目 VIII (面接)	(2)	★実践科目 IX (面接)	(2)	★実践科目 X (面接)	(2)
	実践科目 IV (面接)	(2)	★実践科目 XI (面接)	(2)	★実践科目 XII (面接)	(2)	★実践科目 XIII (面接)	(2)
	実践科目 V (面接)	(2)	★実践科目 XIV (面接)	(2)	★実践科目 XV (面接)	(2)	★実践科目 XVI (面接)	(2)
	実践科目 VI (面接)	(2)	★実践科目 XVII (面接)	(2)	★実践科目 XVIII (面接)	(2)	★実践科目 XIX (面接)	(2)
	実践科目 VII (面接)	(2)	★実践科目 XX (面接)	(2)	★実践科目 XXI (面接)	(2)	★実践科目 XXII (面接)	(2)
	実践科目 VIII (面接)	(2)	★実践科目 XXIII (面接)	(2)	★実践科目 XXIV (面接)	(2)	★実践科目 XXV (面接)	(2)
	実践科目 IX (面接)	(2)	★実践科目 XXVI (面接)	(2)	★実践科目 XXVII (面接)	(2)	★実践科目 XXVIII (面接)	(2)
	実践科目 X (面接)	(2)	★実践科目 XXIX (面接)	(2)	★実践科目 XXX (面接)	(2)	★実践科目 XXXI (面接)	(2)
外国語科目	Reading & Writing I (1) Reading & Writing II (1)	Reading & Writing III (1) Reading & Writing IV (1)	Reading & Writing V (1) Reading & Writing VI (1)	Reading & Writing VII (1) Reading & Writing VIII (1)	Reading & Writing IX (1) Reading & Writing X (1)	Reading & Writing XI (1) Reading & Writing XII (1)	Reading & Writing XIII (1) Reading & Writing XIV (1)	Reading & Writing XV (1) Reading & Writing XVI (1)
	Listening & Speaking I (1) Listening & Speaking II (1)	Listening & Speaking III (1) Listening & Speaking IV (1)	Listening & Speaking V (1) Listening & Speaking VI (1)	Listening & Speaking VII (1) Listening & Speaking VIII (1)	Listening & Speaking IX (1) Listening & Speaking X (1)	Listening & Speaking XI (1) Listening & Speaking XII (1)	Listening & Speaking XIII (1) Listening & Speaking XIV (1)	Listening & Speaking XV (1) Listening & Speaking XVI (1)
	Writing & Speaking I (1) Writing & Speaking II (1)	Writing & Speaking III (1) Writing & Speaking IV (1)	Writing & Speaking V (1) Writing & Speaking VI (1)	Writing & Speaking VII (1) Writing & Speaking VIII (1)	Writing & Speaking IX (1) Writing & Speaking X (1)	Writing & Speaking XI (1) Writing & Speaking XII (1)	Writing & Speaking XIII (1) Writing & Speaking XIV (1)	Writing & Speaking XV (1) Writing & Speaking XVI (1)
	Four Skills I (1) Four Skills II (1)	Four Skills III (1) Four Skills IV (1)	Four Skills V (1) Four Skills VI (1)	Four Skills VII (1) Four Skills VIII (1)	Four Skills IX (1) Four Skills X (1)	Four Skills XI (1) Four Skills XII (1)	Four Skills XIII (1) Four Skills XIV (1)	Four Skills XV (1) Four Skills XVI (1)
	Labo Training I (1) Labo Training II (1)	Labo Training III (1) Labo Training IV (1)	Labo Training V (1) Labo Training VI (1)	Labo Training VII (1) Labo Training VIII (1)	Labo Training IX (1) Labo Training X (1)	Labo Training XI (1) Labo Training XII (1)	Labo Training XIII (1) Labo Training XIV (1)	Labo Training XV (1) Labo Training XVI (1)
	Introduction to Online English (1) Professional Writing Skills (1)	Introduction to Translation (1) Writing for Specific Purposes (1)	Domestic Job Training (1) Overseas Job Training (1)	ドイフ語 I (1) ドイフ語 II (1)	ドイフ語 III (1) ドイフ語 IV (1)	ドイフ語 V (1) ドイフ語 VI (1)	ドイフ語 VII (1) ドイフ語 VIII (1)	ドイフ語 IX (1) ドイフ語 X (1)
	ドイフ語 I (1) ドイフ語 II (1)	ドイフ語 III (1) ドイフ語 IV (1)	ドイフ語 V (1) ドイフ語 VI (1)	ドイフ語 VII (1) ドイフ語 VIII (1)	ドイフ語 IX (1) ドイフ語 X (1)	ドイフ語 XI (1) ドイフ語 XII (1)	ドイフ語 XIII (1) ドイフ語 XIV (1)	ドイフ語 XV (1) ドイフ語 XVI (1)
	ドイフ語 III (1) ドイフ語 IV (1)	ドイフ語 V (1) ドイフ語 VI (1)	ドイフ語 VII (1) ドイフ語 VIII (1)	ドイフ語 IX (1) ドイフ語 X (1)	ドイフ語 XI (1) ドイフ語 XII (1)	ドイフ語 XIII (1) ドイフ語 XIV (1)	ドイフ語 XV (1) ドイフ語 XVI (1)	ドイフ語 XVII (1) ドイフ語 XVIII (1)
	ドイフ語 III (1) ドイフ語 IV (1)	ドイフ語 V (1) ドイフ語 VI (1)	ドイフ語 VII (1) ドイフ語 VIII (1)	ドイフ語 IX (1) ドイフ語 X (1)	ドイフ語 XI (1) ドイフ語 XII (1)	ドイフ語 XIII (1) ドイフ語 XIV (1)	ドイフ語 XV (1) ドイフ語 XVI (1)	ドイフ語 XVII (1) ドイフ語 XVIII (1)
	ドイフ語 III (1) ドイフ語 IV (1)	ドイフ語 V (1) ドイフ語 VI (1)	ドイフ語 VII (1) ドイフ語 VIII (1)	ドイフ語 IX (1) ドイフ語 X (1)	ドイフ語 XI (1) ドイフ語 XII (1)	ドイフ語 XIII (1) ドイフ語 XIV (1)	ドイフ語 XV (1) ドイフ語 XVI (1)	ドイフ語 XVII (1) ドイフ語 XVIII (1)

= 124 単位



# 専門科目について

国際文化学部 国際文化学科 ※印は必修科目、△印は選択必修科目、○印の授業科目のうち、最低1科目以上を必ず履修しなければならない。

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業要件
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学部共通科目	必修科目	※九州学 2 ※日本文化入門 2 ※アジア文化入門 2 ※欧米文化入門 2							8単位
	選択科目	日本語教育学入門 2 日本語教育文法論 2	日本語教授法 2 日本語教育授業研究 2	日本語教育実習 (2)					6単位以上
		言語学 2	人文社会概論 2 古典に学ぶ 2 中国古典文学 2 国際関係論 2	現代思想 (2) 国際協力論 (2) Intercultural Communication (2)					
学科共通科目	科必修	※ゼミナールⅠ 2 ※コミュニケーション英語入門Ⅰ 1 ※コミュニケーション英語入門Ⅱ 1	※ゼミナールⅡ 4 ※TOEIC講座A 1	※ゼミナールⅢ 4 ※TOEIC講座B 1	※卒業論文・卒業研究 8				22単位
	修選科目必		△欧米思想史 2 △文化交流史 2	△現代アジア事情 (2) △現代欧米事情 (2) △比較文化論 (2)					6単位以上
	選択科目	○海外フィールドスタディA 1 ○海外フィールドスタディB 1 留学対策英語講座 1	学外実習 2 ○海外研修A 2 ○海外研修B 4 語学検定講座A 1 語学検定講座B 1 語学検定講座C 1	プロジェクト演習 (2) ○英語海外留学 (8)					6単位以上
科目	英語エキスパート科目	英語教育学入門 2 英語学入門 2 ベシニック英語表現 2 ビジネス英語ポキヤブラー 2	英語学Ⅰ 2 Communicative Writing A 2 Business Communication 2 コミュニケーション英文法A 2 コミュニケーション英文法B 2	英語学Ⅱ (2) Media Communication (2) Business Communication (2) 英語文献講読A (2) 教科指導法A(英語) (2)	Instructional Design for Teaching English (2) Communication Theory (2) 児童英語教育 (2) 英語文献講読B (2) 教科指導法B(英語) (2)				20単位以上
			English Phonetics A 2 English Phonetics B 2 ポップカルチャー英語 2 Communicative Language Learning I 2 英語科教育法A 2 英語科教育法B 2	英語サポーターA (2) Communicative Language Learning II (2)	英語サポーターB (2)				
	国際教養科目	グローバルイシュー入門 2 国際教養学入門 2	英語文学概論 2 英語圏文化論 2 欧米文化論 2 イスラム文化論 2 アジア文化論 2 アジア史概説 2 アメリカ史概説 2 ヨーロッパ史概説 2	英語文学特講 (2) 英語圏文化特講 (2) 欧米文化特講 (2) 環境問題論 (2) アジア文化特講 (2) NPO・NGO論 (2)					10単位以上

## 専門科目

【学部共通】 ※必修科目8単位  
□選択科目6単位以上

【学科共通】 ※必修科目22単位  
△選択必修科目6単位以上  
□選択科目6単位以上

【学科展開】  
英語エキスパート□選択科目20単位以上  
国際教養 □選択科目10単位以上

計 78単位

+

さらに専門科目及び外国語科目から  
8単位以上(基礎教育科目は含まない)

86 単位 (さらに専門科目及び外国語科目から8単位以上)

○印の演習科目のうち、最低1科目以上は必ず履修しなければならない!

(全員、いずれかの科目を履修し、海外に行きます。)

※やむを得ない事情でこれらの科目を履修できない場合は、別の科目の履修に替えることができます。

(学生便覧P.219 第11条参照)



# 基礎教育科目及び外国語科目について

区分	★KSU基礎教育コア		第3年次	第4年次
	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)
導入科目	基礎ゼミナール	02		
	基礎ゼミナール(フイアラーセミナー)	02		
	導入ゼミナールⅠ	01		
	導入ゼミナールⅡ	01		
	情報処理演習A	02		
	情報処理演習B	02		
	★キャリア形成基礎	02	★キャリア形成発展	02
	★実用英語Ⅰ(文書力)	02	★実用英語Ⅱ(伝達力)	02
	★実用英語Ⅱ(図画力)	02	★実用英語Ⅲ(表現力)	02
	★実践的教養Ⅰ	02		
実践科目	★実践的教養Ⅱ	02		
	★実践的教養Ⅲ	02		
	★英語力養成演習A	02	★英語力養成演習B	02
	学生リポーター	02	英語力養成演習Ⅱ	02
	学生ボランティア入門	02	読解演習A	02
	実践キャリア学修A	02	読解演習B	02
	実践キャリア学修B	02		
	実践キャリア演習A	02		
	実践キャリア演習B	02		
	実践キャリア演習C	02		
教育科目	★日本の歴史	02		
	★世界の歴史	02		
	★伝学	02		
	★日本国憲法	02		
	★現代の政治	02		
	倫理学	02		
	数学の世界	02		
	文学の世界	02		
	心理学概論	02		
	文化人類学	02		
音楽科目	科学の世界	02		
	地理の世界	02		
	現代の経済	02		
	現代の経営	02		
	数学の世界	02		
	科学の世界	02		
	美学-美術史	02		
	音楽概論	02		
	アートスクール	02		
	世界の美術史	02		
外国語科目	人権-国際関係	02		
	フェンダーと社会	02		
	総合演習A	02		
	総合演習B	02		
	総合演習C	02		
	総合演習D	02		
	★スポーツ科学概論	02		
	心の健康	02		
	健康学	02		
	Reading & Writing I (1)	Reading & Writing II (1)	Reading & Writing III (1)	Reading & Writing IV (1)
Reading & Writing V (1)	Reading & Writing VI (1)	Reading & Writing VII (1)	Reading & Writing VIII (1)	
Listening & Speaking I (1)	Listening & Speaking II (1)	Listening & Speaking III (1)	Listening & Speaking IV (1)	
Listening & Speaking V (1)	Listening & Speaking VI (1)	Listening & Speaking VII (1)	Listening & Speaking VIII (1)	
English Expression (2)				
Four Skills I	Four Skills II	Advanced Reading & Writing I	Advanced Reading & Writing II	
Labo Training I	Labo Training II			
Introduction to Online English				
Professional Writing Skills				
Introduction to Translation				
Writing for Specific Purposes				
Domestic Job Training				
Overseas Job Training				
ドイツ語Ⅰ	ドイツ語Ⅱ	ドイツ語Ⅲ	ドイツ語Ⅳ	
ドイツ語Ⅴ	ドイツ語Ⅵ	ドイツ語Ⅶ	ドイツ語Ⅷ	
ドイツ語会話Ⅰ	ドイツ語会話Ⅱ	ドイツ語会話Ⅲ	ドイツ語会話Ⅳ	
ドイツ語会話Ⅴ	ドイツ語会話Ⅵ	ドイツ語会話Ⅶ	ドイツ語会話Ⅷ	
フランス語Ⅰ	フランス語Ⅱ	フランス語Ⅲ	フランス語Ⅳ	
フランス語Ⅴ	フランス語Ⅵ	フランス語Ⅶ	フランス語Ⅷ	
フランス語会話Ⅰ	フランス語会話Ⅱ	フランス語会話Ⅲ	フランス語会話Ⅳ	
フランス語会話Ⅴ	フランス語会話Ⅵ	フランス語会話Ⅶ	フランス語会話Ⅷ	
韓国語Ⅰ	韓国語Ⅱ	韓国語Ⅲ	韓国語Ⅳ	
韓国語Ⅴ	韓国語Ⅵ	韓国語Ⅶ	韓国語Ⅷ	
韓国語会話Ⅰ	韓国語会話Ⅱ	韓国語会話Ⅲ	韓国語会話Ⅳ	
韓国語会話Ⅴ	韓国語会話Ⅵ	韓国語会話Ⅶ	韓国語会話Ⅷ	
中国語Ⅰ	中国語Ⅱ	中国語Ⅲ	中国語Ⅳ	
中国語Ⅴ	中国語Ⅵ	中国語Ⅶ	中国語Ⅷ	
中国語会話Ⅰ	中国語会話Ⅱ	中国語会話Ⅲ	中国語会話Ⅳ	
中国語会話Ⅴ	中国語会話Ⅵ	中国語会話Ⅶ	中国語会話Ⅷ	

## 基礎教育科目

導入科目 4単位以上  
 実践科目 4単位以上  
 教養科目 12単位以上

全体(上述を含む)で22単位以上

## ★コア科目

履修を推奨する科目です。  
 コア科目を中心に履修しましょう。  
 1年次に**最低1科目以上**は履修を!

## 外国語科目

2外国語 16単位 (英語 12単位以上)  
 英語 12単位以上+その他の1外国語4単位以上  
 =計 16単位

## 英語科目

フレイズメントテスト結果をもとに、  
 自分の能力に応じたクラスに編成されます。  
 英語科目2科目が事前に登録されています。

# 授業時間割について

## ①専門科目

3種類あります。

②「基礎教育・教職・留学生の日本事情科目」  
(KSU基盤教育)

③「外国語科目・留学生の日本語科目」  
(KSU基盤教育)

②及び③の留学生の科目は、全学共通で開講されます。



※基礎教育科目は基本的に、どの学部・学科であっても履修できます。  
※英語以外の外国語科目(I・II)は国際文化学部単独クラスです。

# 授業時間割について

備考欄に「**18以降**」と記載されている  
授業科目を履修できます。

## 授業時間割表の見方

授業時間割には、  
**期別**（前期・後期・通年）・  
**授業科目**・**担当者**・**教室**が記載されている。

事前に登録されている授業科目は、  
基礎ゼミナール、コミュニケーション英語入門Ⅰ・Ⅱ、  
キャリア形成基礎論、情報処理演習A及び英語科目。  
(留学生は日本語科目)

クラス指定がある科目は指定クラスで受講すること。

# 授業時間割について

## ・教室の見方について

N101	・・・	1号館1階北側	101教室
2E301	・・・	2号館3階E側	301教室
OA2	・・・	1号館6階	OA2教室
42	・・・	中央会館4階	42教室
PC2	・・・	中央会館4階	パソコン教室2
3403	・・・	3号館4階	403教室

### 授業時間割を変更する場合

- ①授業が追加される
- ②受講者数などの理由により、教室を変更する
- ③担当者が変更するなど

※K'sLifeの連絡通知でお知らせします。

各自、授業に行く前に、必ず確認してください。

# 履修単位上限数について (CAP)

単位修得に必要な学修時間を確保するため、1年間に履修登録できる単位数の上限を定めています。

## 国際文化学部国際文化学科

1年次 44単位(年間)

2年次 44単位(年間)

3年次 44単位(年間)

4年次 44単位(年間)



入学年度によって  
ルールが違います！

※ 1.2年次配当の授業科目を**合計36単位以上**修得し、  
かつ、**進級試験に合格しなければ、2年次のままとし、  
3年次に進級することができない。**

# 英語のクラスについて

英語クラスは能力別クラスとなっており、先日受験した英語プレイスメントテストのスコアによりクラス分けされます。

「Reading & Writing I・II」と「Listening & Speaking I・II」の4科目は、4/7(火)までに仮登録されます。

→英語クラス分け結果については、4月7日(火)に大学のポータルサイトK'sLifeを確認すること。

# 実用国語、数理的教養の履修について

国語プレイスメントテスト結果をもとに、国語科目を予め登録している場合があります。

以下の科目が既に履修登録されている場合、必ず履修し、単位修得できるよう頑張ってください。

「実用国語Ⅰ（文章力）」、「実用国語Ⅱ（国語力）」、「実践キャリア学修B」

数学プレイスメントテスト結果をもとに、基礎教育センターから「数理的教養Ⅰ」の履修を促す場合があります。その際は「数理的教養Ⅰ」を履修するようにしてください。



# 受講者数の上限数について

受講者数の上限が設定されています。

履修の画面に

○ : 残数が30%以上

△ : 残数が30%未満

× : 残数が0%

早めに履修登録すること。

教室の規模に応じて、履修登録を制限しているため、教室の座席数を超えて、履修登録することができない設定となっている。



ということは、早めに履修登録しないと、履修できなくなる可能性がある……。

# 令和2年度新規科目について

「実践力育成演習B」(担当者:鶴田先生、松岡先生、村上先生)

「AIを使いこなす人」を育てるため、  
全学共通基礎科目として、AIに関する授業を開講します。  
AIの魅力と必要性を体感する授業です。  
※同一授業科目名称で内容の異なる科目があるので注意すること。

「総合講座D」担当者:今村先生

「先を読む力」「論理的思考力」「コミュニケーション力」の向上を  
図るため、囲碁に関する授業を開講します。  
囲碁のルールを解説し、実際に対局を行います。



ホークス・スタッフが講師！  
プロ野球ビジネスが学べる！  
タカガールデー観戦も！

前期火曜4限  
「実践キャリア演習A」  
学部・学科横断型

九産大だけの特別講座

# 履修制限科目について

履修が制限されている科目があります。

初回授業に出席して受講許可が得られる科目

- ・実践力育成演習A
- ・スポーツ科学演習 等

- ・課題解決演習A・B

# 授業時間割のつくりかた

11：00～履修登録説明会  
13：00～学科オリエンテーションで  
（時間割を考える）  
4/7～9 履修登録期間  
※自分で登録すること。

※時間割表に、自分が履修する科目をマークしよう！！

- ①クラス分け表を見て、自分のクラスを確認する。
- ②火1・水1・金1は、英語科目を履修するため、空けておくこと。
- ③その他のクラス指定科目は、教務課で事前登録をしている。  
4/7(火)の履修登録時に自分で確認すること。
- ④必修科目（\*マーク）は必ず履修すること。
- ⑤実践キャリア学修Bが登録されている学生は、履修すること。
- ⑥基礎教育科目を選択し、マークする。  
実践科目・教養科目を中心にマークする。
- ⑦初修外国語（英語以外の外国語）をマークする。  
（〇〇語 I と〇〇語会話 I はセットで履修すること。）

※履修登録単位数の上限である44単位をなるべくバランスよく履修すること。

# WEB履修登録説明会

※WEB履修説明会において、履修登録方法をお教えします。  
履修登録は、4/7(火)に一斉スタート！！それまでに授業科目を選定しておくこと。

## WEB履修登録説明会

時 間:4月6日(月)11:00～12:00

場 所:1号館6階OA教室1

※履修ガイド(K'sLife利用ガイド)・授業時間割表を必ず持参すること！

前期履修登録期間・・・4月7日(火)～4月9日(木)

前期履修登録**変更**期間・・・4月27日(月)～4月30日(木)

後期履修登録**変更**期間・・・9月8日(火)～9月18日(金)



「履修登録」や「履修変更」などはK's Lifeで登録を行った**翌日以降**に出力し、内容に間違いがないか必ず確認してください。

# 履修したら

## ①教科書の購入

- 履修ガイド・教科書購入一覧を参考に自分が履修した科目の教科書を確認する。
- 教科書購入申込書(OCR)を使って購入する。
- 教科書販売:4月7日(火)～ 場所:中央会館2F販売所

## ②授業に出席する(半期14回)

- 時間割を見て、教室を確認して、教室に入ってください。
- 教室の変更等は、K'sLifeを使って確認できます。
- 出席登録のためには学生証が必要です。

## ③休講・補講について

- **休講**: 授業担当者がやむ負えない理由で授業が行われない場合があります。
- **補講**: 休講した授業を補うために行う講義。

**休講・補講の情報はK'sLifeで通知します。  
毎日、確認してください。**



# 試験について

前学期定期試験 7/25(土)～7/31(金)

後学期定期試験 1/8(金)～1/18(月)

以下に該当すると試験が受けられません！！

- ・履修登録をしていない。
- ・授業の出席回数が2分の1に満たない。
- ・修学費を納めていない。
- ・学生証を所持していない。
- ・試験に20分以上遅刻した。

定期試験時間割表は試験開始2週間前に**教務課HP**に掲載します。  
必ず確認を行い、受験忘れなどしないように注意して下さい。

## 追試験

- ・病気その他やむを得ない事由で定期試験を受験できなかった学生に対して行う試験。
- ・追試験を申し出ることのできる要件は学生便覧で確認すること。
- ・定期試験最終日の翌日までに、所定の書類を教務課に届けること。



# 教職資格等について

## 教職・学芸員・社会教育主事・司書等 資格取得が可能

教職課程……………1年次後学期から履修開始。  
1年次生を対象に7月頃教職ガイダンスを実施します。

司書・学芸員・社会教育主事…1年次前学期から履修開始

資格課程ガイダンス(司書・司書教諭・学芸員・社会教育主事)  
該当学生には、K'sLifeにてお知らせしますので、  
必要な手続きを行って下さい。

# 奨学金関連のお知らせ

## 「日本学生支援機構」

※高校時に申請を行い「採用候補者」となった学生が対象!!

日程	開始時間	対象学部	場所
4月2日(木)	15:00	商学部(経営管理)	1号館4階 S404番教室
	15:30	商学部(流通マーケティング)	
4月3日(金)	9:30	経済学部	1号館2階 S201番教室
	10:00	人間科学部(臨床心理・子ども教育)	
	10:30	地域共創学部(観光)	
	11:00	人間科学部(スポーツ健康科)・建築都市工学部(建築)	
	14:00	地域共創学部(地域づくり)	
	14:30	建築都市工学部(都市デザイン工)	1号館1階 S101番教室
	15:00	国際文化学部	
4月6日(月)	9:00	理工学部(情報科)	1号館2階 S201番教室
	9:30	理工学部(機械工)	
	10:00	理工学部(電気工)	
	10:30	芸術学部(生活環境デザイン)、生命科学部	
	11:00	芸術学部(芸術表現・ソーシャルデザイン)・建築都市工学部(住居・インテリア)	
	11:30	芸術学部(ビジュアルデザイン・写真映像)	

※なお、高校時に申請していない方で、日本学生支援機構奨学金の貸与を希望される方につきましては、この説明会ではなく、新規在学採用の説明会を別途開催します。掲示板等で日程・集合時間等を確認のうえ、出席してください。ご不明な点については、1号館3階の厚生課にお尋ねください。

# 4月22日（水） 授業開始

※履修登録変更期間は、**4月30日(木)**までですが、授業によっては出席を取り、授業の内容も進んでいきます。

受講希望の授業には必ず出席しましょう！

# 授業の出席について

## ICカードリーダーと出席登録

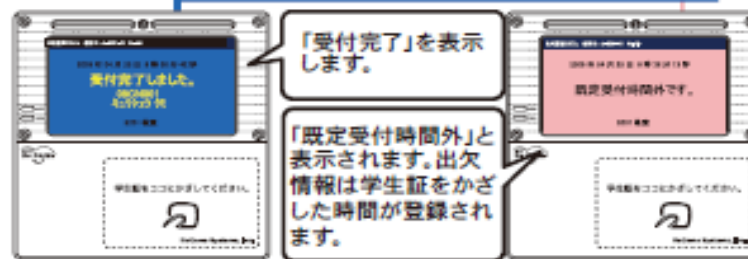
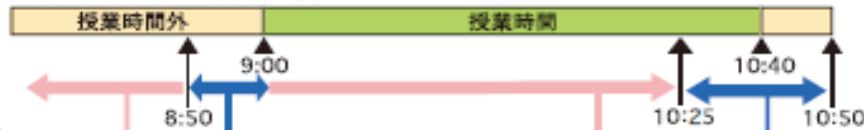
学生証をかざすだけ！



正しく読み込めない場合はエラーが表示されます



1 時限目授業の場合の例



- 1 授業開始前までに教室に入ることが基本です。ICカードリーダーで受付完了しても、出席を認定する時間は担当教員によって異なります。
- 2 2時限続きの講義等は、各時限の受付時間内にカードをかざしてください。学生証が破損した場合は、教務課窓口(1号館1階)に申し出てください。



- 1 授業開始時と授業終了時の計2回、学生証をICカードリーダーにかざした場合に『出席』となります。



受付時間より1秒でもカードをかざすのが早すぎたり、遅かったりすると欠席や遅刻になります！出席受付時間になっているかカードリーダーに表示されている時計をよく確認すること！



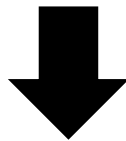
KUS

# 出席登録時間について

ICカードによる出席登録時間が決まっています。  
「時間厳守」は最低限のマナー(ルール)です。  
授業開始(チャイム)後の登録は「遅刻」となります。

## 入室登録

授業開始10分前から  
授業開始(チャイム)まで



## 退室登録

授業終了15分前から  
授業終了10分後まで

# チャレンジマンズについて

## チャレンジマンズ

・100分授業の導入に応じて、

夏季や春季の休業期間の延長

→長期休業期間中の学外での活動を推奨

(例: 海外研修・留学、ボランティア等の社会貢献活動、インターンシップ参加など)

# 出席について

## 出席について

本学学生のデータ分析の結果、  
授業全体の出席率が**80%以下**になると、単位  
修得率が大きく下がることが分かっています。  
→急な病気等で休まないといけないこともある  
ので、普段から授業にはきちんと出席すること。

# 三者面談について

## 三者面談

- ①学期途中で出席率が低い学生については、保護者の方へ文書を送付します。
- ②連続して対象となった学生については、**警告文書、退学勧告文書**を送付します。
- ③学期末に出席率、GPA、修得単位数が低い学生については、**三者面談**を行います。
- ④改善が見られない場合については、学則に基づく**懲戒(訓告、退学処分)**を行うことがあります。



対象にならないように、授業には**必ず**出席しましょう！



# 各種掲示板・連絡通知について

※時間割の変更、休講・補講、教室変更、科目担当者からの連絡などは・・・

- ① K's Lifeで通知される
- ② 教務部HPに公開される



**毎日確認すること!!**

# 教務部HPについて

## 教務部ホームページ

授業や時間割など教務に関する情報を掲載していますので皆さん確認をしてください。

### トップページ

- 教務課からのお知らせ  
教務関係のお知らせを掲載します。
- よくある質問  
問い合わせが多い内容を掲載します。
- 利用の手引き
- 学籍関係
- 教務の紹介

etc.....

### 学部のページ

- 履修・授業・卒業に関すること  
履修規程の要点を分かりやすくまとめました。  
卒業要件や履修のルールを確認してください。
- 時間割  
授業の時間割を掲載しています。  
試験前は試験時間割を掲載します。
- 学部からのお知らせ  
教務関係のお知らせを掲載します。

etc.....

<http://www.eas.kyusan-u.ac.jp/>



時間割の裏面にQR  
コードがあるので、  
読み取ってみよう！

# 本日以降のオリエンテーション日程について

4/6(月)

11:00～12:00: WEB履修説明会<OA1>

13:00～14:40: 国際文化学科新入生オリエンテーション<2W404>

4/7(火)

13:00～14:00: 定期健康診断<3号館8階>

**4/22(水)授業開始**

※詳細は、新入生オリエンテーション等日程表を確認すること

# 最後に

時間割、履修、授業など分からないことがあったら、すぐ教務課へ!!

TEL:092-673-5587

分からないことを分  
からないままにしないこと。必ず聞くこと。



# コロナウイルス感染症拡大に伴う 本学の対応について

K' s Life、HPで随時情報を更新していますので、必ず確認するようにしてください。  
大学への出校等に関わる本学の方針に従い、各自、自己防衛に努めてください。